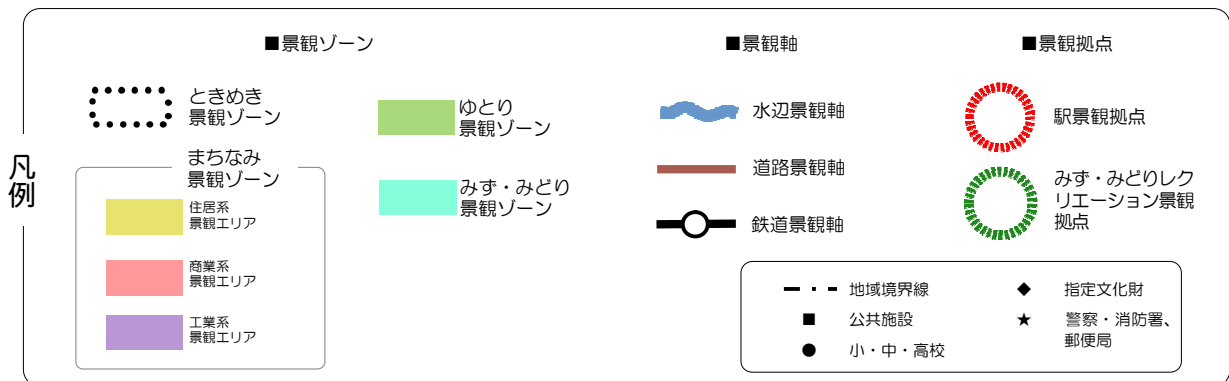
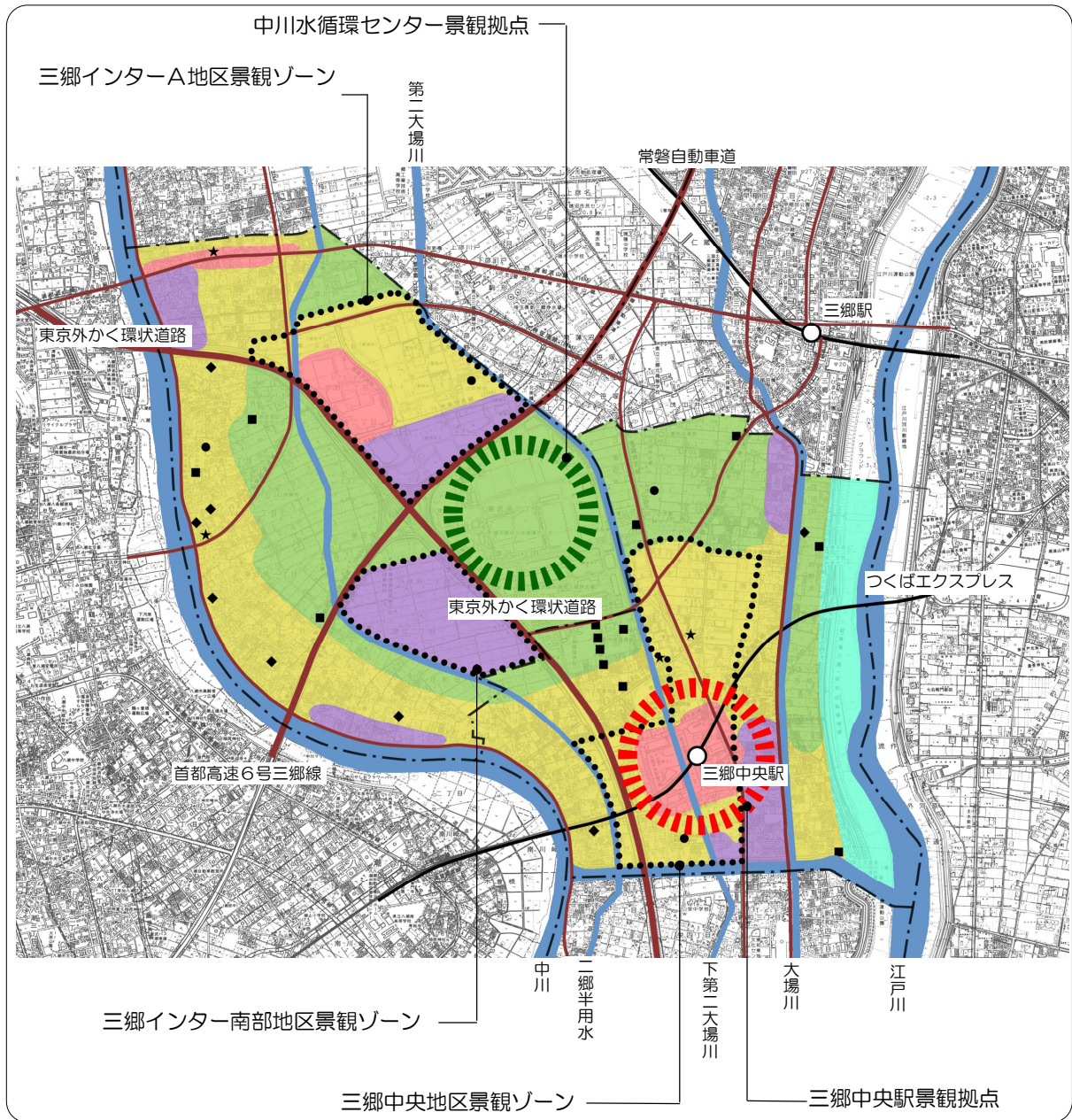


## (2) 彦成・中央地域

本地域のゾーン及び景観軸、景観拠点について、それぞれの特性を踏まえて方針を次のとおり設定します。

### 1) 景観形成方針図（彦成・中央地域）



## 2) 景観ゾーンの方針

### ■ときめき景観ゾーン

#### ●三郷中央地区景観ゾーン

- ・三郷中央地区は、ふれあいと賑わいをつくりだす多様な高次都市機能の集積を図り、魅力ある景観形成を通じて、多くの市民に親しまれるまちづくりを目指しています。
- ・そして、つくばエクスプレスのアクセスを活かした住居施設や業務・商業施設等による新たな街が創出されています。
- ・本景観ゾーンは、新たな街のゆとりや賑わいづくりによって、多くの市民や広域の人々が、ときめき性を醸し出すような景観形成を図ります。
- ・また住居施設は、住まい空間としての落ち着きや潤いのある景観形成を図ります。

#### ●三郷インターA地区景観ゾーン

- ・三郷インターA地区は、広域交通の要衝をなす三郷インターチェンジに隣接し、多機能複合型商業施設や住居施設・流通業務施設等による新たな街が創出されています。
- ・本景観ゾーンは、広域交通の要衝性を活かしたふれあいと賑わいの創出に向けた新たな街の景観形成を図ります。
- ・また住居施設においては、落ち着きと潤いのある景観形成を図ります。

#### ●三郷インター南部地区景観ゾーン

- ・三郷インター南部地区は、流通系及び工業系の施設の立地を誘導し、新に魅力あるまちづくりの実現を目指しています。
- ・本景観ゾーンは、三郷インターチェンジの特性を活かし、流通業務の拠点となるまちづくりを目指し、周辺施設等との調和と潤いに配慮した景観形成を図ります。

### ■まちなみ景観ゾーン

#### ●彦成・中央地域の住居系景観エリア

- ・本住居系景観エリアは、概ね江戸川と中川に沿った二つの区域に区分されます。両区域とも、主に戸建て住宅がみられ、一部に工業施設等の区域があります。
- ・また、彦成通りの郷土資料館周辺には、地域らしさを残す家屋や社寺などのまち並みがみられます。
- ・本景観エリアは、水辺景観との調和と住まい空間としての落ち着きや潤いのある景観形成を図ります。
- ・郷土資料館周辺においては、地域らしさを活かしたまち並みや施設等の景観形成を図ります。

#### ●彦成・中央地域の商業系景観エリア

- ・本地域西部の一部に、沿道型の商業系景観エリアがあります。
- ・本景観エリアは、周辺の住居施設等との調和を図り、ゆとりと賑わいのある景観形成を図ります。

●彦成・中央地域の工業系景観エリア

- ・本地域の東部や西部に工業系景観エリアがあり、住居施設等が点在しています。
- ・本景観エリアは、周辺の住居施設等との調和と潤いに配慮した景観形成を図ります。

■ゆとり景観ゾーン

●彦成・中央地域の農地・住居系等景観エリア

- ・本地域の中央部に、農地、または農地の一部に住居施設等が点在した農地・住居系等景観エリアがあります。
- ・本景観エリアは、市域全体の中央部にあり、まちなみゾーン周辺のゆとりと潤いの空間として、農地景観の維持に努めるとともに、一部土地利用されている住居施設等との調和に配慮した景観形成を図ります。

■みず・みどり景観ゾーン

●彦成・中央地域の江戸川河川敷景観ゾーン

- ・本地域の江戸川河川敷は、水辺とともにグラウンド等のレクリエーション景観を有しています。
- ・本景観ゾーンは、豊かな水辺景観とともに、市民の憩いとスポーツの場としての景観形成に努めます。

3) 景観軸の方針

■水辺景観軸

●彦成・中央地域の江戸川・中川景観軸

- ・本地域の江戸川と中川は、豊かな水辺景観とともに、市域の骨格を示す重要な水辺景観軸となっています。
- ・本景観軸は、市民に親しまれ、身近に感じる水辺景観の保全と育成に向けた景観形成を図ります。

●彦成・中央地域の太場川・第二太場川・二郷半用水景観軸

- ・本地域を縦断する太場川・第二太場川・二郷半用水の水辺景観軸は、市街地及び田園ゾーン内を流れ、身近な水辺景観を市民に提供しています。
- ・本景観軸は、市民に親しめる水辺として水辺景観の保全を図るとともに、護岸施設等は景観に配慮した整備を図ります。

●彦成・中央地域の三郷放水路景観軸

- ・江戸川と中川を結ぶ三郷放水路の水辺景観軸は、桜並木とともに水と緑の水辺景観を市民に提供しています。
- ・本景観軸は、市民に親しめる水辺として水辺景観の保全を図るとともに、護岸施設等は景観に配慮した整備を図ります。

■道路・鉄道景観軸

●常磐自動車道・東京外かく環状道路等景観軸

- ・常磐自動車道と外かく環状道路等は、大規模構造物として三郷市の特徴的な景観要素となっています。また、三郷インターの下部空間において、ピオトープ（注）整備を行い動植物の生息しやすい環境を育成しています。注）ピオトープとは、ドイツ語で「野生動植物の生息・生育する空間」の意味。
- ・本景観軸は、周辺環境に配慮した緩衝緑化の維持や色彩等に配慮した景観形成に努めます。

●彦成・中央地域の**主要道路景観軸**

- ・本地域の交通網を形成する道路景観軸がみられます。
- ・本景観軸は、周辺環境に配慮した緑化や道路施設等の景観形成に努めます。

●つくばエクスプレス**景観軸**

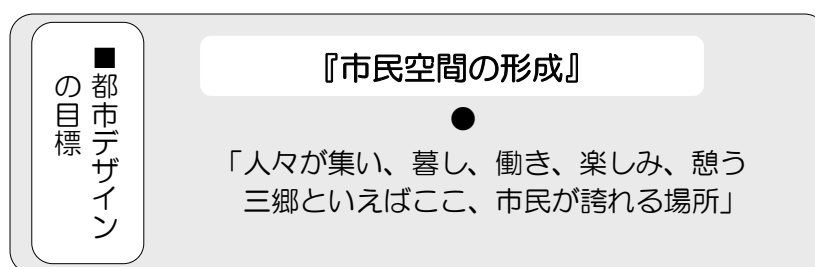
- ・つくばエクスプレスの大規模構造物が南部を通り、本市の特徴的な景観軸となっています。
- ・本景観軸は、側道の緑化維持や色彩等に配慮した景観形成に努めます。

#### 4) 景観拠点の方針

■**駅景観拠点**

●**三郷中央駅景観拠点**

- ・三郷中央駅周辺（三郷中央地区センターゾーン）は、都心につながるつくばエクスプレスの玄関口として、業務・商業施設等の整備が進んでいます。また駅に接して、におどり公園と第二大場川の水辺を有し、周辺都市にはみられない優れた駅周辺の景観要素を有しています。
- ・本センターゾーンの景観形成については、指針となる「三郷中央地区センターゾーン都市デザインプラン検討報告書」が策定され、次の都市デザインの目標が示されています。



- ・本景観拠点は、新たな街の玄関口として、人の賑わいや憩いに配慮し、「市民空間の形成」に向けた景観形成を図ります。

■**みず・みどりレクリエーション景観拠点**

●**中川水循環センター景観拠点**

- ・埼玉県中川水循環センターは、広場や施設等においてスポーツ活動や潤い空間として利用されています。
- ・本景観拠点は、市民のスポーツと潤いの場を維持し、活かすための景観形成に努めます。